

第1709回
例会
プログラム
2001・9/13 No.11



WEEKLY REPORT

友愛

例会場：東山荘(講堂)

開会点鐘：12:30

ロータリーソング：奉仕の理想

内容：クラブフォーラム(第1回)創立35周年について
35周年実行(委員)会長

次回
9月20日の
例会

1710回 12:30点鐘
消防庁舎(東田中)

9月 御殿場RC例会プログラム

月日	時間	会場	内容	担当及び卓話者
9/6 (1708回)	12:30	東山荘(記念館)	青少年交換 あれこれ	2620地区 青少年交換(委)会長
9/13 (1709回)	12:30	東山荘(講堂)	クラブフォーラム(第1回) 「創立35周年について」	35周年実行(委)会長
9/20 (1710回)	12:30	消防庁舎 (東田中・本部)	防災について	御殿場市・小山町広域行政組合消防本部 担当官 渡辺秀晃様
9/27 (1711回)	12:30	東山荘(記念館)	御殿場プレミアム・アウトレット 「オープン1年が過ぎて」	チェルシー ジャパン(株) 御殿場支配人(予定)

会員慶事

- ・会員誕生日
9月17日 内海 隆治君
- ・夫人誕生日
9月16日 神谷 高義君ご夫人 和子様

会長挨拶

長田 吉弘



早いもので会長挨拶も今日で10回目となりまして、余すところ40回となりました。挨拶の中には必ずロータリーの情報を入れるよう心がけておりますが、これは、内海幹事よりのアドバイスでして、幹事報告と重ならないようにしていただいております。

R I より国際ロータリーの賞及び認証の案内が届いております。

国際ロータリーでは、ロータリアンやロータリークラブの卓越した業績を認証して、奨励する数多くの表彰プログラムを設けているとのことで、当クラブでは既に意義ある業績賞を教育海外研修プログラム等で受けていると思いますが、他にR I 広報賞とか、四大奉仕部門功労賞とかがあります。詳しく知りたいと思う方がおりましたら資料をお見せ致しますので私の方に申し出てください。

さて、先日青森に行って来ました。三内丸山遺跡を見学してきましたが、静岡の登呂遺跡と似ていると思いますが紹介致します。三内丸山遺跡は、江戸時代から知られている有名な遺跡です。これまでの発掘調査で、縄文時代前期から中期(約5500年前～約4000年前)の大集落跡や平安時代の集落跡(約1000年前)、中世末(約

400年前)の城館跡の一部が見つかっています。

特に縄文時代の大集落跡からは、たくさんの竪穴住居跡、大型竪穴住居跡、掘立柱建物跡、大量の遺物がすてられた谷(泥炭層)、大規模な盛土、大人の墓、子供の墓、土器作りのための粘土採掘穴などが見つかりました。

また、谷から見つかった動物や魚の骨、植物の種子や花粉からは当時の自然環境や食生活などを具体的に知ることができます。さらに、ヒスイやコハク、黒曜石は遠方との交易を、漆器は専門的な技術をもった人々がいたことを物語ります。

このように、三内丸山遺跡は、縄文時代の人々の生活を具体的に知ることができる貴重な遺跡で、平成12年11月に国の特別史跡に指定されました。

青森県では、縄文時代の「むら」を体験できる公園として、三内丸山遺跡の整備を進めています。

第2620地区御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日 12:30～13:30

例会場・事務局/YMCA東山荘

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

静岡県御殿場市東山1052

会長/長田 吉弘 会報委員長/芹澤 正明

ロータリー青少年交換プログラムあれこれ 勝間田豪亮

青少年交換プログラムは、高校生が対象で、学問の勉強より親善大使としての役目が主体です。

派遣学生は出発前と帰国後、又受入学生は来日時と帰国時のちがい、その進歩の程度は目をみはるものがあります。

派遣学生は殆ど英語圏を希望するけれど残念ながら彼等の英語は殆ど通じないので、どこの国へ行っても「コトバ」では皆苦労します。従って行った国の「コトバ」を徹底して覚えることが、実り多い体験となります。必ずしも希望通りの国へ行けないのですが、案外1年たつとその国の「コトバ」をかなりマスターして帰ってきます。

日本に来たくて来た学生もいますが、日本の情報は殆ど無く、希望者も少ないようですが、帰る時には「日本に来て良かった。皆やさしい、食べ物が美味しい、又来たい」などと言って別れを惜しみます。

受入学生には徹底して日本語で接し、英語は話さないようにしているから、英語が苦手な人でも充分ホストが出来ます。

帰国学生は異口同音にロータリーのおかげで素晴らしい体験が出来た事をすごく感謝しています。3ヶ月ぐらい苦労しますが、その苦労を乗り越える事が人間を大いに成長させるわけで、そして「コトバ」が少しずつ身につく、コミュニケーションがスムーズに出来るようになり、日本に無い物が見えてくるわけです。

日本の事をよく聞かれるが、余り答えられない、恥ずかしい思いをすとも言っています。日本についての勉強も大切だと思います。

受入クラブの方々は、外国の学生を受け入れる事により勉強になるとも言っています。

候補学生はロータリーのプログラムだから安心して参加できるとも言っています。

いつか我がクラブでも派遣、そして受入れが実現出来ればと願っていますので、その節は参考にして下さい。



9月13日のスマイル

- ・箱根から山をこえて、きました。よろしく。
高緑章吉
- ・久しぶりにおじゃましました。よろしく。
瀬戸寛幸
- ・8/19日の富士山清掃ありがとうございました。
社会奉仕委員長 山崎恭夫
- ・生野さん、クリーン作戦の写真ありがとうございました。
鈴木崇司ほか17名

前回の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
62名	58名	51名	87.93%	100%

欠席者（7名）

井口修一君、神谷高義君、勝又 誠君、勝又敏雄君
小早川豊一君、根上陽一君、杉山敏夫君

メーキャップ（8名）

- ・8月31日 裾野 石川 又英君
- ・8月31日 裾野 勝又 洋君
- ・8月10日 沼津 勝又 敏樹君
- ・8月20日 山中湖 小野 寛幸君
- ・8月27日 沼津東 生野 旭君
- ・9月4日 沼津北 芹澤 正明君
- ・8月31日 裾野 高村 繁男君
- ・8月8日 アクト 小早川豊一君